

教科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・2年E組
使用教科書	農業と環境 文部科学省検定著作教科書 7実教 農業301	副教材等	自作プリント		

1 学習の到達目標

農業生物の育成と環境の保全についての体験的、探求的な学習を通して、農業及び環境に関する学習について興味・関心を高めるとともに、科学的思考力と課題研究能力を育成し、農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4月～11月	5 環境の調査	1 環境の調査 生物の調査 植生の調査 土壌の調査 水質の調査 水辺の調査 大気の調査	・地域の環境の調査方法に関する知識と技術を習得するとともに、生きもの要因や人為的要因が環境に及ぼす影響と人間生活の相互関係について理解する。	レポート・考査等
		2 環境の保全と修復・再生	・自然環境を保全・修復・再生するための知識や方法を身につけさせる。	レポート・考査等
		3 環境学習のプロジェクト	・環境学習プロジェクトに主体的、自立的に取り組む態度を見付けている。	レポート・考査等
12月～3月	2 私たちの暮らしと農業・農村	1 人間と植物・動物のかかわり	・動植物の生命活動、生物間のつながり、生物の体を構成する物質の循環について理解することができる。	レポート・考査等
		2 農業と自然・社会とのかかわり	・環境と調和した人類社会の持続的な発展を支える農業の役割について理解を深める。	
		3 日本の農業・農村と食料供給	・日本の農業技術とそれを支える自然環境の特徴を理解し、食品産業の現状の知るとともに、食生活の在り方を考える。	
		4 農業の国土・環境の保全	・農業が国土や環境の保全に果たす役割を理解し、環境と調和した農業の方法について考えることができる。	
		5 農業・農村の役割	・農業・農村のもつ社会的及び多面的な機能と役割について理解を深めることができる。	
		6 これからの農業・農村	・農業や農村を取りまく課題を整理し、これからの農業の在り方について主体的に解決する態度を身につける	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	座学・実習への積極的な参加と、レポート等の提出
思考・判断・表現	理論と実習が一体となり、新たな工夫が出来る。
技能	環境の調査を正確に行うことができる。
知識・理解	座学での学習内容を圃場や自然の中で確認できる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

(1) 考査や小テストの結果 (2) 提出物の状況(期日と内容) (3) 出席状況 (4) 授業の取り組み状況

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

この科目の履修の条件は以下の項目を全て満足することです。

- (1) 教科書や教材を忘れず、良好な姿勢で授業に参加している。(2) 欠課時数が23時間以下である。
(3) 全ての提出物を提出している。(4) 考査や小テスト等を全て受験している。